

令和7年度非特定営利活動法人 大友氏顕彰会 通常総会議事録

日 時／令和7年5月14日(水)13:00～14:30

会 場／大分市コンパルホール 305

司会(藤田賢治理事)／「この総会は委任状を含め、正会員の過半数の出席が求められる。本日の出席20名、委任状の提出が84名、計104名。4月1日時点での会員数が179名、したがって過半数を超えているので通常総会は成立」したことを宣言。ついで議長選考に移り会場から求めたが挙手なきにより、溝部幸祐事務局顧問を推薦、満場一致で選出した。

溝部／資料にしたがって進める。まず「1号議案、令和6年度活動報告」、若杉理事長を指名。

若杉／これより議題に入るが、その前に一言。

昨年6月に組織変更により理事長を承ってはや1年。理事長として初の総会運営で冒頭から至らぬ点があったことをお詫びする。それから事務局長の大塚雄一郎理事が3月末体調を崩し急遽佐藤弘俊副理事長が事務局長を兼務した。まず大塚氏よりひと言。

大塚／もともと持病があり不安の中で精一杯頑張ってきたがこの3月体調を崩し、思い通りに動けずやむを得ず役を辞退させもらった。大変なご迷惑かけ申し訳ない。

若杉／それでは「第1号議案、令和6年度の事業報告」。会として全体の活動項目のみを読み上げる。内容については資料参照。次に牧達夫名誉理事長の活動報告。対外的に「大河ドラマ推進協議会会長」として活動しており、主にその立場で説明した。

牧／「大友宗麟を大河ドラマに！」を旗印に1.NHKへの要望活動、2.大分県人会における広報活動、3.各種団体での広報活動※総会資料参照

若杉／次に6年度活動報告の最後に『おおもと会報』発行状況について説明。※資料参照

溝部／次「2号議案、令和6年度の活動計算書報告」に移る。佐藤事務局長を指名。

佐藤／資料にしたがって読み上げる。※資料参照

溝部／次は「第3号議案、会計監査報告」。昨年に引き続き井本盛夫監事の予定だったが急遽欠席につき小森建治代理報告。

小森／資料の文言を読み上げる。※資料参照

溝部／次に「第4号議案、令和7年度事業活動計画」について。会全体としての活動計画は若杉が報告する。

若杉／記載の各項目のみ読み上げる。各項目の詳細は牧名誉理事長から報告する。

牧／資料にしたがって読み上げる。※資料参照

若杉／次に**今後の課題**について報告。

1.～順次読み上げ、2.の『アルメイダ生誕00年記念誌』を強調。最後に会員拡大のお願い、チラシ参照 ※牧名誉理事長からひと言

溝部／次に「5号議案、7年度活動予算」、佐藤事務局長を指名。

佐藤／6年度収支を参考に7年度の収支を算出し計画。※資料参照。そのほか推進協議会としての活動と連動するが7年度は真名野長者伝説のドラマ化に具体的に取り組んでいく。

また、北島俊一会員から臼杵支部と連動する自身の行動記録と予定の記載を求められた。

日時／3月3日 13:00～ 臼杵桜まつり協賛「宗麟公を顕彰するカラオケの集い」

会場／臼杵城公園特設ステージ 参加 40名。

7年度も6年度以上の規模を臼杵支部の事業として計画、顕彰会行事として列挙してほしい。

若杉／補足説明・この予算案の根拠は未確定部分が多く従来の結果を参考にした。特に今年は1%応援事業の集票活動、『大友氏の風景(13)』、『アルメイダ生誕500年記念誌』の書籍販売の協力をお願いした。

因みに現在7年度会費の納入結果を報告。昨年度期末の会員数は179名、7年度退会願いが数人だされ現段階で171名、未納が50名前後、あいまいな数は未納の中には重複者が数十名あり、その精査がまだ済んでいないことによる。5月中旬に7年度会員数を確定したい。

溝部／最後に「6号議案、役員を選任」一覧表を読み上げる。

若杉／大塚理事の体調不良により急遽佐藤副理事長が事務局長を兼務したが、専任が望ましい。

司会／全議案の終了に伴い溝部氏の議長を解任する。最後に「その他」に移り参加者から意見を求めた。

若杉／今日は長い時間のご協力ありがとうございました。今後の皆様のご協力をお願いして「令和7年度通常総会」を終了いたします。

5月末日 記録者／佐藤弘俊事務局